



高校入試が幕を開ける

校長 中基 信夫

三年生にとっては正月気分も何もあったものじゃなかったのではないのでしょうか。休み明けと同時に私立高校の受験がスタートするのですから。

さて、その直前に大学入試センター試験が全国的に行われたことは報道でも承知していることと思います。ムーミンの問題など特徴ある出題も取り沙汰されましたが、いちばん腹立たしかったのは試験監督がいびきまでかいて寝ていたということ。皆さんの高校入試も同じですが、受験生が1年間、この日のために眠い目を擦りながら努力に努力を重ねてきたことに対する冒瀆です。

私は“受験生”という言葉を知ると敬意を払います。個人差はあるにしても自分なりに苦勞し、努力をして試験日までやってきたのですから。私も、高校入試も大学入試もとにかく睡魔と闘いながらの受験勉強をしてきました。思い通りに進まないことが殆どで、大学入試では第一志望校に合格できませんでした。それでもやり遂げた感自分なりに味わうことができたと思っています。

そんな大切な時間に、試験監督者がこともあろうことかいびきをかいて寝てしまうとは…。試験監督をする自信がなかったのなら最初から引き受けなければよかったのに…。すくなくともその場にいた受験生にはお詫びの言葉を発して欲しいと思ったりします。



市のバブルサッカーに参加